



# 図書館だより



瑞穂野中学校

読書を通して知識や想像力を高め、潤いのある生活をしてみませんか？



夏休み中はどんな本に出会いましたか？学校図書館の開館日も、新刊を借りに来たり、調べ物をしたり、学習に励む姿が見受けられました。

休み明けも朝読に静かに取り組んでいますね。そしてお弁当の日もスタートしました！日々のお弁当作り、いかがでしょうか。何らかの形でお弁当作りに関わっているのでしょうか。図書室にはお弁当の本もたくさん揃っていますので、ぜひ“開けたら元気になる”お弁当作りの参考にしてくださいね。



「てんきち母ちゃんの朝10分、あるものだけでほめられ弁当」  
(59/イ)井上 かなえ  
文芸春秋

「顔弁」  
(59/タ)たいら あやの  
オーバーラップ



## 家読の思い出を伝えよう！

## 感想募集キャンペーン

**募集期間：9月29日まで**



「大相撲の親方夫人が作る愛情弁当」  
(59/ス)須藤 恵理子  
トランスワールドジャパン

瑞穂野地域学校園では『家読』を推進しており、夏休みを前に、学校園内統一で「家読におすすめの本」コーナーを設けたところです。お休み中のみなさんの読書活動はいかがでしたでしょうか。学校図書館では、家読をやってみての感想を募集しています。ぜひ他のみなにも、家読の楽しさや新たな発見を教えてください。

キリトリ線

### 保護者の皆様へ

家族で『家読』を実施してみても、感じたことや感想、家読の楽しさなどを教えてください。

※記入は保護者でも児童生徒でも、どちらでも構いません。

※図書だより（学校園図書だより）に掲載する機会があることを、ご了承ください。（名前は伏せます。）

※9月29日（金）までに、切り取ったものを、児童生徒を通じて担任の先生に渡してください。

〈感じたことや感想など〉

生徒氏名 年 組 名前



『ふる里の和食 宇都宮の伝統料理』

柏村 祐司 他/ (随想舎)

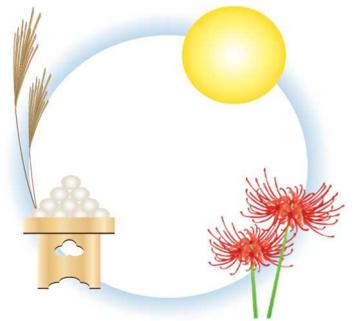
“郷土”のコーナーでは、8月30日(水)に給食委員会にて『炭酸まんじゅう』を作った様子を、寄贈していただいた本と共に展示しています。祭礼や年中行事に欠かせない伝統料理を、解説やレシピと共に紹介した興味深い本です。



『この世をば 我が世とぞ思ふ 望月の かけたることも なしと思へば』

(【訳】「この世のすべてが、自分のもののように思われる。満月がどこもかけていないように、わたしもこの世に満足しているよ」/藤原道長)

現在の9月18日ごろの満月はとても美しく見え、平安時代の貴族も月を鑑賞したといわれています。上の和歌は、栄華を極めた道長の代表的な一首です。



食欲の・・・秋。美味しいものいっぱい！

『暑さ寒さも彼岸まで』という言葉があらわすように、春も秋も【彼岸】を過ぎると過ごしやすい気候となり、いよいよ“読書の秋”“スポーツの秋”“芸術の秋”到来です。

廊下の展示コーナーでは『美味しいものいっぱい！』を紹介していますよ。

10月には、お話し給食□学校園統一メニューが実施される予定です！



注) 展示棚の本も貸し出しができます。

借りたい場合は声をかけて貸し出し手続きをしてください。



芥川龍之介 没後90年  
(1892. 3. 1-1927. 7. 24)  
心に響く言葉を作品と共に味わってみよう。



『日本の文豪ここに響く言葉2』

長尾 剛/ (汐文社)

『ホラーセレクション8 サイコ』

芥川 竜之介 他/ (ポプラ社)



『ようこそ、冒険の国へ!』

芥川 竜之介 他/ (くもん出版)

『鼻』、『羅生門』、『地獄変』などを書いた文豪・芥川龍之介の没後90年。死後、芥川の名を冠した新人文学賞「芥川龍之介賞」が設立され、現在へと続いています。廊下の特設コーナーでは、日本文学界に多大なる影響を与えた作家、芥川龍之介を特集していますので、皆さんも珠玉の名文と共に、さらに深く味わってみてください。

左は『RUN!』特集

【廊下の特集コーナー】

